

## 国際社会学部

# 社会経済史学と 地域研究の融合

Socio-economic History and Area Studies  
—「モノ」から考える地域研究の可能性—



### どのような学問か

社会経済史学は、社会経済の歴史を研究する学問分野です。対象でいえば、空間的にはアジア、ヨーロッパ、アメリカ、アフリカなど全世界に及び、時間的には中世またはそれ以前から現代に至る期間をカバーしています。方法的にも経済学と歴史学を基盤に、人文社会科学や自然科学も必要に応じて利用する学際性の強い学問です（社会経済史学会編『社会経済史学事典』丸善書店、2021年）。他方、地域研究は、地域の実態把握、すなわち地域の生態・社会・文化に根ざした「地域の固有性（地域性）」への深い理解を目指す学問だとされています（『京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科概要』より一部抜粋）。

言うまでもなく、地域研究の方法は様々です。ここでは、社会経済史的な研究手法を通じた地域研究、つまり、ある地域の経済的事象に着目した地域研究の可能性を考えたいと思っています。より具体的には、「モノに着目した地域研究」の可能性を考えるという立場です。モノに着目すると言ってもその内容は多様です。物理学、化学、生物学はすべて「モノ」に着目する学問です。しかし、ここで注目しているのは、ある地域で「モノ」が有している社会経済的実態とその意味です。言い換えれば、生産や消費のあり方と社会・文化的な意味に着目するということです。人間は自然に働きかけて道具としてのモノを作り、その道具を使い、モノを生産し、生産されたモノを消費します。人間は自然なしには生きていけません。また、モノなしに生きていけません。すなわち、モノに着目すれば、人間と自然との関係、人間と地域との関係、人間の経済活動、ある地域に住む人々の社会や文化の特徴を見極めることができるのではないのでしょうか。そういう研究スタイルが「モノ」から考える地域研究です。

たとえば、執筆者の宮田敏之は、タイの主要輸出品であるコメに着目してタイの社会経済の歴史と現状分析を進めてきました。たとえば、コメは地域ごとに栽培方法に特徴があり、そこから人間と自然、人間同士の関係性が見えてきます。また、品種改良、コメの流通・商品化、コメ輸出企業の戦略、政府の農業経済政策などにも研究関心は広がります。タイの香り米ジャズミン・ライスは、世界有数の高級米として輸出され、世界の多くの地域で消費されています。ジャズ発祥の地で、稲作も盛んなアメリカのルイジアナ州では、タイのジャズミン・ライスに対抗して、ジャズメン・ライス（Jazzmen Rice）が品種改良され、販売されたほどです。タイのコメに着目すると、地域固有の経済・農業・文化・社会の特徴を分析する可能性が開かれます。それと同時に、国際的な食料をめぐる諸問題を研究する道も開かれると考えています。

### 関連する授業一覧（2023年度）

社会経済史学と地域研究に関わる授業

- 概論：経済社会と地域社会（宮田敏之）
- 現代東南アジア経済論（宮田敏之）
- タイ研究特論（宮田敏之）

東南アジアに関する地域研究の専門科目

- 医療から見るベトナム近現代史（小田なら先生）
- 近現代ベトナムの性と政治（小田なら先生）
- 島嶼部東南アジア政治社会史（左右田直規先生）
- マレーシア政治社会史（左右田直規先生）
- インドネシアの文化と社会（金悠進先生）
- 東南アジアの文化と社会（金悠進先生）
- フィリピン研究（日下渉先生）
- 東南アジア文化人類学（生駒美樹先生）
- ビルマ文化論（生駒美樹先生）

### ゼミ

- 宮田敏之ゼミ（東南アジア）

### 関連する学問分野

- 地域研究 ■ 歴史学

### おススメの本

社会経済史学

- 社会経済史学会編『社会経済史学事典』丸善出版、2021年
- 社会経済史学会編『社会経済史学の課題と展望—社会経済史学会創立70周年記念』有斐閣2002年

地域研究

- 和辻哲郎『風土—人間学的考察』岩波文庫、1979年
- 畠山重篤『森は海の恋人』文春文庫、2006年。